

鹿児島県南種子町／移住・定住促進事業

背景

- ✓ 全国的な少子高齢化による人口減少が急速に進行
- ✓ 東京圏への一極集中の傾向が継続
- ✓ 若年層を中心として、地方から東京圏に人口が流出

現状の課題

- ✓ 人口構造の若返りと人口規模の確保には、U・J・I ターン希望者を呼び込む等、新しいひとの流れをつくることが不可欠

事業の目的

- ✓ 有効活用できる空き家物件が少ない

- ✓ 借りやすい・住みやすい空き家住宅環境の整備
- ✓ U・J・Iターン者増による人口増

これまでの取組



事業内容

- ✓ 提供可能な空き家の把握と空き家改修補助の創設
- ✓ 移住者と町による初の懇談会 (R3. 7. 27・29_南日本新聞)

- ✓ 空き家台帳の整備
- ✓ 空き家バンクサイトの整備
- ✓ 空き家改修等補助事業



加筆 移住者の悩みや町政への不安を解消する
＝南種子町＝

移住の先輩が助言 町幹部交え初の懇談会

南種子町平山の徳住 隆一(とくじゅん)町長は、移住者も出席した移住者懇談会が、相次いで実施された。同日、町民センターで、移住者らと町幹部が、移住の悩みや町政への不安を解消するべく、初の懇談会を開いた。移住者ら30人が参加した。町幹部は、移住者の声に、町も受け入れ態を整えてもらえれば、移住の時期は海、川沿いを控えて、暮らす

南種子町平山の徳住 隆一(とくじゅん)町長は、移住者も出席した移住者懇談会が、相次いで実施された。同日、町民センターで、移住者らと町幹部が、移住の悩みや町政への不安を解消するべく、初の懇談会を開いた。移住者ら30人が参加した。町幹部は、移住者の声に、町も受け入れ態を整えてもらえれば、移住の時期は海、川沿いを控えて、暮らす

アドバースを送った。高城から来た西之の渡邊博美さん(41)は「新型コロナウイルスで人づながりにくく、相談に乗ってもらえる。企画者の一人、会場を提供した廣田広さん(44)は「自分も移住した10年前は知り合いがいなく大変だった。移住者の声に、町も受け入れ態を整えてもらえれば、移住の時期は海、川沿いを控えて、暮らす(南種子町)」



鹿児島県南種子町／移住・定住促進事業

得られる
成果等

成果・目標

- ☑ 移住増加や関係人口の拡大による人口規模の確保

KPI	現状	目標値
空き家バンク入居件数	3件／年 (H30)	5件／年



寄附を
する
メリット
等

企業に求めるもの等

- ☑ 生活基盤となる住居の確保
- ☑ 住宅改修等事業への寄附のご支援

企業のメリット

- ☑ 種子島宇宙センターや鉄砲伝来の地をはじめとする全国に誇れる豊富な観光資源を有する南種子町での取り組みへの参画によるPR効（社会貢献活動による企業イメージ向上）
- ☑ 地域資源を生かした新事業の展開

企業との連携イメージ



「新たな関係性の構築」・「情報共有」

連絡先

（企業版ふるさと納税に関する問合せ先）
南種子町役場企画課政策推進係
TEL 0997-26-1111（内線173・174）

（移住・定住補助に関する問合せ先）
南種子町役場企画課観光経済係
TEL 0997-26-1111（内線173・174）